

## 令和 6 年度 関係者評価報告書

小中一貫校むくのき学園  
大阪市立啓発小学校  
大阪市立中島中学校  
学 校 協 議 会

## 1 総括についての評価

- ・学校は概ね適切に自己評価を行っている。
- ・小中一貫校ならではの教員の連携が児童生徒にとって良い環境となっている。
- ・小中ともに達成できていない項目もあるが、目標数値だけではなく、多様化にも対応することが必要。最も肯定的な回答はむずかしいのではないか。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標 :

- ①安全・安心な教育の推進
- ②未来を切り拓く学力・体力の向上
- ③学びを支える教育環境の充実
- ④その他

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。
- ・児童生徒に寄り添っている雰囲気が学校から感じられる。多様な対応が必要になっており、教職員は日々緊張感をもちらながら学校運営を行ってくれている。
- ・本来、保護者の家庭教育が基本であるが、それが十分でないため、保護者の学校への過度な期待や要求が、学校現場の疲弊感につながっていると考える。

## 年度目標 :【安全・安心な教育の推進】

- 学校診断アンケートにおいて、「人を傷つけるような言葉や行動を許さない学年になっていると思う。(小学校)」の項目において、肯定的回答の割合を 75% 以上にする。  
「学校は、いじめや暴力行為を許さない安心できる場所になっている。(中学校)」の項目において、肯定的回答の割合を 85% 以上にする。

(小) 78.8% (中) 82.4%

- 学校診断アンケートにおいて、「むくのき学園の決まりを守っている。(小中学校)」の項目において、肯定的回答の割合を小学校 95%、中学校 85% 以上にする。

(小) 89.7% (中) 94.1%

- 人権教育推進にかかる年間方針、人権教育確認事項をもとに、学校生活全般において人権を意識した教育を行い、人権課題に関わる取組を年間計画にそって各学年で取り組む。

文化祭は、小中連携を行い滞りなく人権教育を軸とした取組を経て舞台発表につなげることができた。そして、東淀川支援学校と居住地校交流や UD 学習の取組を通して地域間交流も実施することができた。

- 学校診断アンケートの「自分にはよいところがある。」の項目において、肯定的回答の割合を小学校 88% 中学校 82% 以上にする。

(小) 84.8%、(中) 78.4%

○学校診断アンケートの「責任をもって係や当番活動をしたり、みんなと協力して清掃活動に取り組んだりしている（小学校）」、「学校のものを大切に扱い、自分の役割に責任を持ち、みんなと協力をして清掃活動に取り組んでいる（中学校）」という項目について肯定的な回答の割合を90%以上にする。

(小) 91.5% (中) 90.2%

#### 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○算数・数学科プリント・デジタルドリルに取り組む。

年間目標 小学校（低学年）…80回、（中学年）…80回、（高学年）…80回  
中学校…100回

**小中ともに達成できた。**

○学校診断アンケートにおいて、「自分の考えをペアやグループ活動で説明したり話し合ったりしている（小学校）」、「授業では自分の考えを発表する機会がよく与えられている（中学校）」、「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている（中学校）」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする。

(小) 90.1% (中) 82.4%、86.3%

○（小学校）学校診断アンケートにおいて「クラブ活動や体育の授業、休み時間など運動することは楽しい」の肯定的回答率を90%以上にできるよう運動への意欲を高める取組を実施する。

（中学校）学校診断アンケートにおいて「朝食を毎日食べている」の肯定的回答率を80%以上にできるよう、基本的な生活習慣の確立をめざした取組を実施する。

(小) 93.4% (中) 84.2%

#### 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

○学習者用端末活用率表」における、児童生徒の学習者用端末（クロームブック）の月別活用率を小中ともに75%以上にする。

(小) 76.1% (中) 75.7%

○中学校の学校診断アンケートの「ふだんから読書をしている」36.4%、「教室や図書室の本をよく利用している」22.1%の項目について（数字は令和5年度の肯定的回答率）それぞれ2ポイント増加させる。

**前者は40.6%、後者は31.4%との結果となり、それぞれ4.2%、9.3%の増加**

○月80時間以上の時間外超過勤務について、学校全体で月平均1名以下にする。

**4月～2月の長時間勤務80時間超えの教職員は小中あわせて6名で、月平均0.5名である。**

#### 年度目標：【その他】

○小中一貫教育の強みを最大限に生かす中で、ちがいを認め合い個性や能力を伸ばす教育の推進を図り、全市募集による入学希望者数を含め、新1年生の複数学級を維持する。

**新1年生（35名）単数学級・新7年生（50名）複数学級**

### 3 今後の学校運営についての意見

- ・校則の改正（靴のきまり）について、生徒の意見を聞いて決めていくことは良い。
- ・地域として学校の目標、学校の様子を共有していきたい。
- ・運動やスポーツよりも、読書が好きな子どももいると思うので、目標数値だけではなく、多様化にも対応することが必要。最も肯定的な回答はむずかしいのではないか。
- ・小中一貫教育の強みを生かし、次年度も頑張っていただきたい。
- ・区役所の不登校支援事業などの利用もしながら、児童生徒に寄り添う学校運営を今後も期待する。